

愛知県内における山岳遭難発生状況（令和4年）

1 山岳遭難の発生推移（平成30年から令和4年まで）

（1）発生件数

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
発生件数	37	25	38	46	37	
遭難者数	44	36	41	55	52	
	死者	3	3	1	5	3
	行方不明	0	0	0	0	0
	重傷	3	3	6	6	5
	軽傷	10	16	11	8	6
無事救助	28	14	23	36	38	

（発生件数）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年	3	4	1	2	5	3	3	3	3	4	6	0
令和元年	3	2	3	1	2	3	3	0	3	1	2	2
令和2年	0	1	0	3	7	3	1	8	1	5	7	2
令和3年	3	2	6	3	5	1	5	5	1	5	7	3
令和4年	2	1	3	7	1	3	4	3	2	4	3	4

（※ 数字は、遭難件数を表しています。）

発行元 愛知県警察本部地域総務課

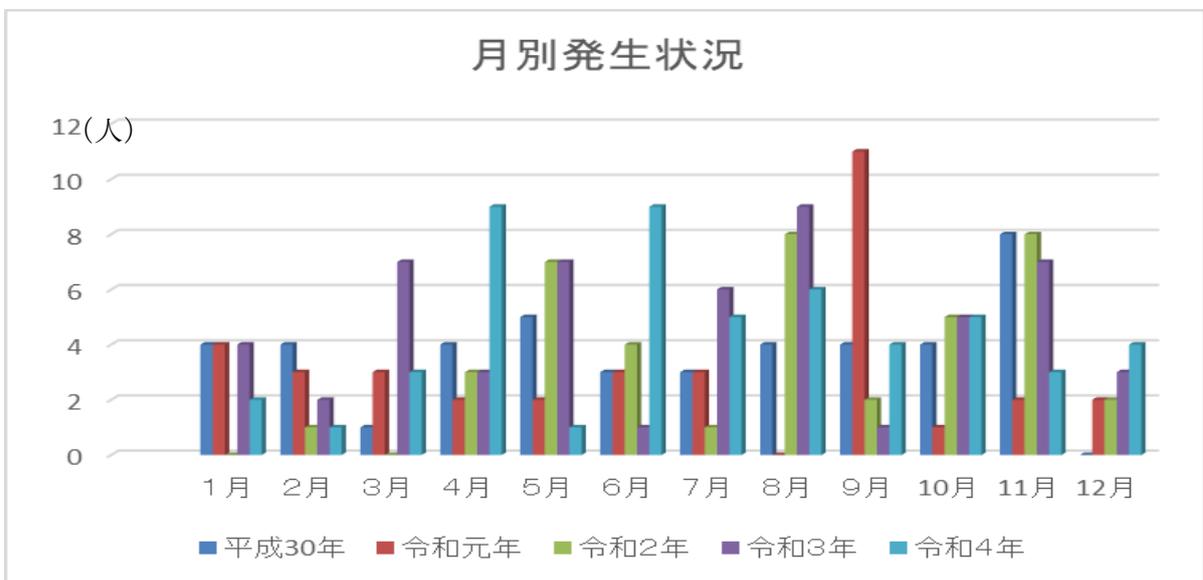
令和4年における山岳遭難の発生件数は、過去最高の発生件数（愛知県警認知分）であった令和3年より減少し、例年並みとなりました。

社会情勢が、徐々にコロナ禍前に戻りつつあり、登山以外のレジャーへの回帰が見受けられる一方で、登山経験が少ない登山グループが増加したことにより、遭難者数が昨年に引き続き、例年より多い状況となりました。

(2) 月別発生状況 (遭難者数による表示)

(人)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年	4	4	1	4	5	3	3	4	4	4	8	0
令和元年	4	3	3	2	2	3	3	0	11	1	2	2
令和2年	0	1	0	3	7	4	1	8	2	5	8	2
令和3年	4	2	7	3	7	1	6	9	1	5	7	3
令和4年	2	1	3	9	1	9	5	6	4	5	3	4



(※ 数字は、遭難者人数を表しています。)

発行元 愛知県警察本部地域総務課

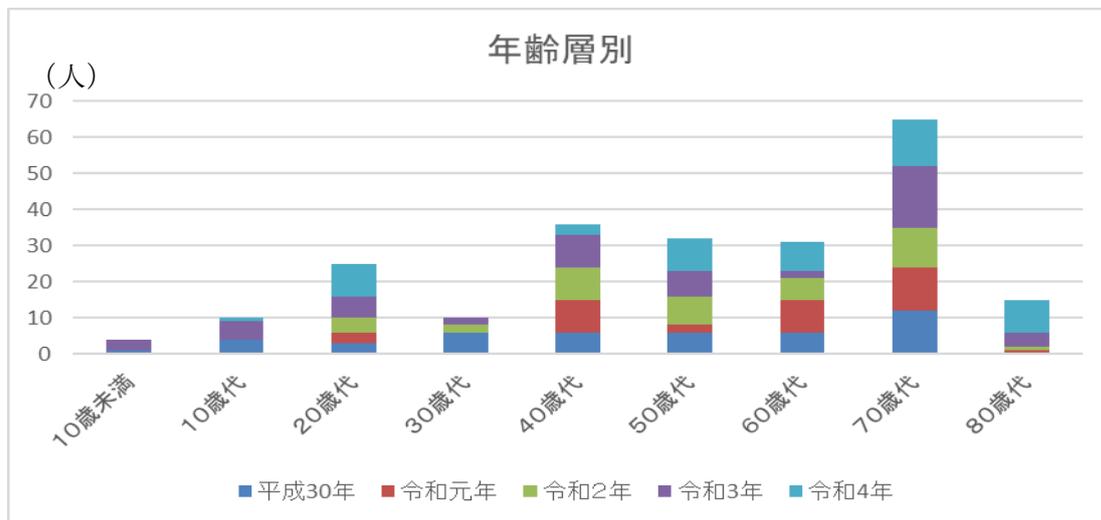
令和4年における山岳遭難は、4月と6月に最も多く発生しております。
山岳遭難は、ほぼ毎月発生していることから、登山の時期に関らず、遭難防止対策をしっかりと立て、登山をするようにしてください。
 また、グループでの山岳遭難も増加傾向にあります。
 グループにおける山岳遭難の防止対策は、経験が浅い登山者に合わせた登山計画を立てると、グループに無理のない計画を立てることができます。

※ この統計結果は、愛知県警察が認知した山岳遭難を集計したものであり、他の救助機関等が公表する統計とは異なる場合があります。

2 遭難者の年齢層（遭難者数による表示）

年齢層別 遭難者数

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
10歳未満	1	0	0	3	0
10歳代	4	0	0	5	1
20歳代	3	3	4	6	9
30歳代	6	0	2	2	0
40歳代	6	9	9	9	3
50歳代	6	2	8	7	9
60歳代	6	9	6	2	8
70歳代	12	12	11	17	13
80歳代	0	1	1	4	9



(※ 数字は、遭難者人数を表しています。)

発行元 愛知県警察本部地域総務課

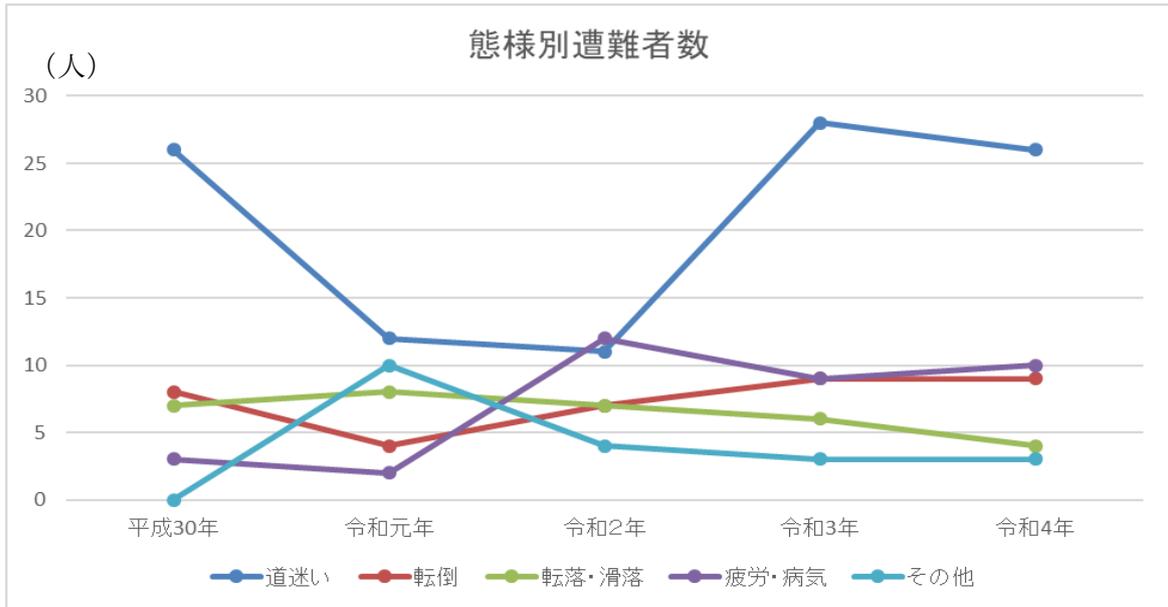
山岳遭難では、50歳以上における遭難者が多く、特に80歳代の遭難者が増加した状況となっています。

自分の体力を過信せず、登山当日の健康状態と相談し、少しでも体調に不安があれば、登山計画の変更をしましょう。

3 原因別発生状況（遭難者数による表示）

態様別人数

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
道迷い	26	12	11	28	26
転倒	8	4	7	9	9
転落・滑落	7	8	7	6	4
疲労・病気	3	2	12	9	10
その他	0	10	4	3	3



(※ 数字は、遭難者人数を表しています。)

発行元 愛知県警察本部地域総務課

山岳遭難の発生原因のほぼ半数が、『道迷い』によるものです。

事前に登山をする予定の山岳に関する情報を集め、登山計画をしっかりと立てることで、道迷いによる山岳遭難を未然に防ぐことができます。

また、登山目的に見合った装備品を用意して、事故防止に心掛けてください。

夏場の登山では、熱中症による遭難も発生していますので、必ず水分を持参してください。また、体力不足が原因による遭難も発生しておりますので、日常のトレーニング、自分の能力、所有する装備品等に見合ったグレードの山を選び、楽しい登山にしましょう。

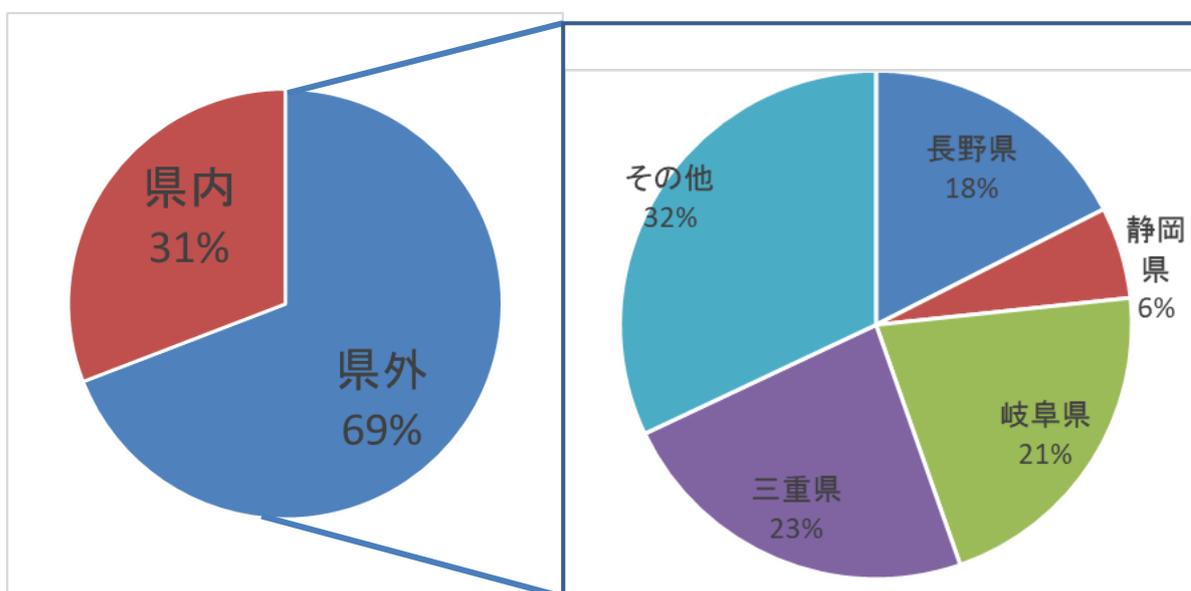
4 近隣県における愛知県居住者の山岳遭難発生人数

	長野県	静岡県	岐阜県	三重県	滋賀県
平成29年	24	9	15	25	9
平成30年	31	6	9	19	19
令和元年	16	3	12	28	12
令和2年	24	0	19	23	8
令和3年	18	6	22	24	13

(※ 数字は、遭難者人数を表しています。)

発行元 愛知県警察本部地域総務課

令和3年における愛知県民の山岳遭難の割合とその内訳



愛知県居住者による山岳遭難は、県内よりも県外において多く発生しています。県外の山岳は、登山届を必要とする場合もありますので、注意しましょう。山岳遭難を防止するためには、山岳の情報を事前に入手し、安全な登山計画を立て、山岳の地形の特徴、気温、気候に適した服装、装備品を持って、複数で登山してください。

単独登山をする場合には、家族等の身近な方に、いつどの山に登るのかを伝え、予定までに戻らなかった場合の対応についても話し合うようにしてください。